

区分・種別	県指定史跡		
名称	あだちしげのぶ はか 足立重信の墓		
所在地	松山市御幸		
所有者	個人所有	管理団体	松山市
指定年月日	昭和26年11月27日		
解説	<p>足立重信は松山城主加藤嘉明<small>かとうよしあき(よしあきら)</small>の重臣で、その墓は彼の遺言によって松山城を望む城北の地、来迎寺<small>らいごうじ</small>の丘上にある。墓碑の高さ約224cm、花崗岩で作られた五輪塔である。</p> <p>重信は永禄6（1563）年ころ、美濃国に生まれた。天正年間（1573～1592年）に加藤嘉明に仕え、文禄4（1595）年嘉明が文禄の役の功により、淡路国志賀城主から伊予国正木<small>まさき</small>（松前）城主に転封されたのに伴って伊予に來住した。慶長3（1598）年重信は命をうけて伊予川（重信川）の改修を行い、正木城の洪水防止に成功するとともに新しく5000町歩の耕地を生み出した。</p> <p>慶長5（1600）年関ヶ原の戦功で20万石の大名となった嘉明は、勝山築城と城下町の建設を計画し、重信に普請奉行<small>ふしんぶぎょう</small>を命じた。着工より20数年、完工をみずして重信は、寛永2（1625）年永眠した。</p>		

